

（使う責任を果たすために～身近な生活から地域へ～家庭科）学習指導（活動）案

【実践者】

氏名 太田 三菜美

学校名 中標津町立中標津小学校

学年（人数）6年1組および2組（48名）

実施教科（領域）家庭科

【関連するSDGs】（12・14）



【実施概要】

1. 単元名(活動名)：生活を豊かにソーイング・持続可能な社会を生きる(複合単元)

2. 単元の目標（評価規準を意識して設定）

「生活を豊かにソーイング」

- ・製作に必要な材料や手順が分かり，製作計画について理解している。(知識・技能)
- ・手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに適切にできる。(知識・技能)
- ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見出して課題を設定し様々な解決法を考え，実践を評価・改善し考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思考・判断・表現)
- ・布を用いた物の製作について課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫して実践しようとしている。(主体的に学ぶ態度)

「持続可能な社会を生きる」

- ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。(知識・技能)
- ・環境に配慮した生活について物の使い方などに問題を見いだして課題を設定し，様々な解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思考・判断・表現)
- ・家族の一員として，生活をよりよくしようと，環境に配慮した生活について，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。(主体的に学ぶ態度)

3. 単元計画 (全12時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	<ul style="list-style-type: none"> プラスチックごみの問題を身近なものとしてとらえ、目的意識を持たせる。 →プラスチックごみを減らすためかつ生活を豊かにするにはどのような布でてきた物を作るとよいか課題設定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> プラスチックごみの問題から考えたことを伝え合う。 『SDGs(解決策や活動)』を関連付けるためのカード合わせ 課題設定を見通しを持って行えるようにする。→自己設定課題 	<p>NGO 団体グリーンピースジャパン様の活動紹介(写真で紹介)</p> <p>世界→日本→地域へ</p> <p>中標津町とみおかクリーニング様の取組紹介</p>
2 3	<ul style="list-style-type: none"> 製作計画を立て、必要な材料や作り方について見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間目を基にした製作計画を立て、必要な材料や大きさについて見通しをもつ。 新聞紙で試し作りをするなどして完成品のイメージをもつようにする。 製作する際の工夫点をワークシートにまとめておく。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs カード 道徳関連項目(家族愛・家庭生活の充実)
4～ 9	<ul style="list-style-type: none"> 計画をもとにしたオリジナルの布製品の製作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作計画をもとにしてオリジナル布製品の製作をする。 	<p>6年間をふりかえってお世話になった人も入れる。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> 製作のふりかえり実際に使用した感想から、改善のための活動やその意義を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作のふりかえりや感想交流会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs の項目(12・14)との関連
11 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 実際に生活の中で布製品を使用してもらうことで、課題の解決に向けた取組ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前単元を受けての改善策を考えたり実際に改善したりして実際に第3者に使用してもらうことで気づきを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート(比較・深める・広げる) 発信者として何ができるか考えられるようにする。
12	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決に向けて実践したことを報告・交流し今後の生活に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実践を振り返ることで、さらに今後の生活の中で環境のことを地域の中で考えられるようにする。 →最終単元へ「共に生きる地域での生活」 	

<p>4. 本時の展開 (11/12)</p> <p>本時のねらい 布製品を使ってもらった感想から改善のための方法をSDGsと結びつけて考えられるようにする。 ふりかえりを基にして、自分自身を含めたこれからの生活を工夫しよりよくしようとする。 (思考・判断・表現)(主体的態度)</p>			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
<p>導入 (5分)</p> <p>展開 (30分)</p> <p>まとめ (10分)</p>	<p>1. 作品を振り返る見通しを持つ。(5分) 「返ってきた作品のふりかえりをしましょう。」</p> <p>2. ふりかえりをSDGsと関連させて考えられるようにする。(15分)</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題 使ってくれた人がよりよく使うためにできることは何だろう。</p> </div> <p>「使ってくれた人がよりよく使うためにできることは何だろう。」 (予想される発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想カードに書いてあることを基にする。 ・使い勝手のことを書いてくれている。 ・もっと使ってもらうためにはどうしたらいいだろう。 <p>3. チームごとに出た、良かった点や改善点を全体で共有する。(15分) (話し手から予想される発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し大きく作ると使いやすいので今度は大きく作ってみたい。 ・家族全員で使えるようにした方が良かったので、家族全員の希望を聞けばよかったと思う。 ・長く使ってもらえるように、ほつれないように縫ったのが良かった。 <p>(聞き手から予想される発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真でも見たように、ポケットがついていすることで、お財布も入れられて買い物の時便利だと思った。 ・長く使ってもらえるように私は、袋を2重にして作ってみたいよ。 <p>4. これからの生活の中で生かしたいことをまとめる。(10分) 「活動をふりかえって、これからの生活で生かせることを考えてみましょう。」(予想される記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に使ってもらうことで、相手の希望がわかった。誰でもが使いやすいものを作ることも大切だと思った。 ・海の環境を守るために、作り始めたけれど、使い続けなければ意味がないと思うから家族全員が使いやすいように改善したものを作りたいと思う。 	<p>よりよくのポイントは、個別の感想によるところが大きいので、事前にふりかえりシートをこちらで確認をしておき丁寧に見取る。</p> <p>1時間目に既習したSDGsのゴールを想起させる。</p> <p>書いて下さる方に、良さや改善点などについてのコメントをもらえるようにし、またSDGsの視点についても理解できるようにしておく。</p> <p>似た課題や改善点を基にチームを組んで議論しながら「よりよくを」目指せるようにする。</p> <p>家庭科の裁縫実習自体の課題もしっかりとふりかえられるようにする。 →布の裁ち方・縫い方</p> <p>もう一度ワークシートや自分の作品も活用しながら考えられるようにする。再度、SDGsのどの項目と結びつか考えさせたい。オープンエンド形式で各個人のふりかえりでまとめとする。 →次单元へ 「持続可能な社会を生きる」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの項目カード→手元でグループごとに動かしてわかるようにする。 ・タブレット端末の活用 →Microsoft チームスを組んで、あらかじめ作品が写真で見られるようにしておく。

5.評価規準に基づく本時の評価（評価方法）

改善のための方法をSDGsと結び付けて考えている。（発言／ワークシート）（思考・判断・表現）
ふりかえりを基に、これからの生活をよりよくしようと工夫をし、実践しようとしている。
（発言／ワークシート）（主体的態度）

引用・参考資料

- ・朝日新聞「地球教室」
- ・枝廣敦子『プラスチック汚染とは何か』岩波ブックレット 2020年
- ・国際環境 NGO グリーンピースジャパン HP
- ・『《全国ダーツの旅☆徳島県》くるくる工房、初節句を鯉のぼり尽くしてリメイク品オーダーした女性客』 :: リサイクル通信 (recycle-tsushin.com)
- ・下川すまっこシネマ『プラスチックの海』ZOOM オンライン上映会(9月26日14:00~16:00)
- ・環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室「みんなで減らそう レジ袋チャレンジ」広報事務局 令和2年11月レジ袋使用状況に関するWEB調査
- とみおかクリーニング『とみおかクリーニングの本』2021年

協力していただいた方

- ・国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン
- ・中標津とみおかクリーニング
会長 富岡 重喜様 マネージャー兼工場長 藤井 晋平様 マーケティングアシスタント 吉田久仁子様

【自己評価】

苦勞した点	<ul style="list-style-type: none">・取材したことを教育素材として活かす際に取捨選択をしっかりと行わなければならなかった。その際にねらい(ゴール)と正対しているかどうか考えながら教材作りを行った。・家庭科の裁縫実習の本来のねらいに関わって自分自身が裁縫の技能を向上させる必要があった。・子どもたち48名、製作するものがそれぞれ異なるため、各個人ごとに製作過程を見通しをもって取り組めるようにしたり、改善するためのアドバイスを丁寧に考えたりする必要があった。
改善点	<ul style="list-style-type: none">・私自身がより地域を知っているというベースがあるとさらに良かったと感じた。本時において、製作した布製品を使ってもらう相手の多くが保護者であった。保護者だけでなく地域の人を巻き込むことができれば、より地域密着型の授業ができたと感じた。・とみおかクリーニングさんのクリーニングという仕事の紹介をする必要はあったが、プラスチックごみ削減に対する活動にしばって紹介することで、ゴールにより簡単にせまれたと感じた。・家庭科の2年間の目標達成のために裁縫実習に必要な指導項目をもう少し丁寧に押さえたかった。・保護者向けに家庭科通信を発行していたが、SDGsという観点の理解に差が出てしまった。

<p>成果が出た点</p>	<p><自分から> SDGs という軸をもったことによって、昨年度子どもたちが総合的な学習の時間で学んできたことと環境問題をつなげて新たな授業作りができました。また、<u>地域連携を念頭においたことによって、感染症が流行する社会においても地域と子どもたちをつなぐ教材を作ることができました。</u></p> <p><とみおかクリーニング様より> 私自身、皆さん(子どもたち)の考えからプラスになることが多くありました。これをきっかけに SDGs やプラスチックのゴミについてさらに考えを深めていってほしいです。<u>自分で作ってなおかつ使ってもらって物を作ることや使うことの大切さを子どもたちは気が付いたのではないのでしょうか。</u></p>
<p>学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)</p>	<p style="text-align: center;"><small>これからの生活に生かしたいことを自分の言葉で表しましょう。</small></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>5年生の時よりもまっすぐぬえたので良かった。自分で作って自分で使うというのができて良かった。</p> <p>布は洗って使えるので、プラスチックを減らせるので王景境にも良いのでSDGsを意識できたなと思います。</p> </div> <p>この学習で、まちのつけ方やスタンプボタンのつけ方を知ったので、休日とかにももう1回やりたかったです。SDGsで、<u>プラスチックやごみを減らすことをよく考え7作ることができたので、他の授業でも生かしたらいいな</u>と思いました。</p>

子どもたちの作品(写真)



授業者による自由記述

今回の研修でとても多くのものを得ることができました。その1つとしては、実践した家庭科の授業だけでなく、外国語での実践に応用することができたということです。研修を受けて大切なのは、他の授業や学びに応用して子どもたちに伝えていくことだと改めて考えることができました。今後も、自身の授業の中でSDGsの軸を取り入れながら前向きに実践していきたいと思います。

学校内外でSDGs学習・授業実践を広める取り組み

令和3年12月22日に校内研修で発表をしました。

<発表概要>※印は詳細を記載します。

- ・SDGsについて知ってもらうためにカードを使ったアクティビティを実施。
- ・学習指導要領とのねらいとの関わりについて
- ・家庭科の授業での実践内容の報告(※1)
- ・地域連携という視点との関わりについて(※2)
- ・外国語での実践について
- ・今後に向けて
- ・アンケート(※3)

<詳細について>

1. 実践内容について※1

世界で起きている海洋プラスチック汚染の問題を取り上げ、その出来事から中標津という町での取組(とみおかクリーニングさん)に結びつけることで子どもたちに、自分たちの身近にある物事とつながりがあるのだと意識させるようにしました。その上で裁縫の学習に結びつけることで子どもたちの目的意識を高める活動の下支えとなりました。

2. 地域連携という視点との関わりについて※2

実践内容と関わって、「世界の問題」⇒「地域での課題解決への取組」⇒「子どもたち自身の取組」⇒「地域への発信」を行うことで、子どもたちが将来大人になった時に持続可能な社会の創り手になることにつながるのではないかと考えています。また、基盤とした地域連携に SDGs を結びつけて考えることで上記の流れを教員自身が明確にすることができ、授業の中での子どもたちの学びが深まるきっかけとなったと感じました。

3. アンケートを受けて※3

他の教職員が SDGs をどのようにとらえているのか気になったため任意でアンケート調査を行いました。質問内容は「あなたが興味をもった SDGs の番号とその理由」についてとしました。結果は以下に示します。(順不同・原文のまま)

【選んだ番号とその理由】

8 小学校教員として、これからの社会を担う子どもたちを育てる仕事なので8を重視。働きがいのある仕事を伝える、働くことの楽しさを伝えるということを心がけている。そうすると経済成長にもつながると信じている。

5 自分に家族が出来て子が出来てさらに思いましたが、子どもの面倒をみるために休みをとることが難しく申し訳なく感じる時が多いです。お母さん先生や小さなお子さんのいる先生はもう少し配慮してもらえたらうれしいです。私は偏見・差別をできるだけなくしフラットに考えるように意識していきたいです。

特別支援教育に携わってたくさんの意味で「いろいろな人がいる」ことを伝えることの大切さを知ったからです。一人一人違いがあることを特別支援のことをからめながら子どもたちに伝えてみたいと考えました。

学校現場にいてもまだまだジェンダーの問題がある

と思います。男女の色や子どもたちの発言、あとは私たち教員の発言の中にもそれは無意識にひそんでいると思います。自分のもつクラスの子にも1人はLGBTの子がいると思います。子どもたちの興味もあるので、道徳の授業などを通して学び、語り合う時間をつくりたいです。もしできたら当事者の方に学校に来ていただいて直接話を聴くこともしてみたいです。

- 11 今住んでいるまちについて深く考えることがなかったからです。町の観光スポットや有名なものは知っていてもまちづくりに関わることは詳しく知りません。もっと今住んでいるまちについて考えたり住みやすくするために何ができるか自分事として意見をもてるような取組をしたりしたいです。

- 13 自然災害を減らすことができるなら・・・。ゴミを減らす、分別、生ゴミを肥料へ。わかっているけど行動に移すのが難しい。小さい時からあたり前になることが大切。言葉で伝えていくと同時に一緒に取り組み、生活の一部にすること。

買い物中に根室地方の特産品(鮮魚)コーナーで販売されている魚介の値段が高いことに気が付いた。羅臼の漁師さんにお話を伺うと、気候変動によりこれまで特産だった魚介がとれなくなり暖かい海にいるはずの魚が根室地方でとれるようになってしまったとのこと。地球温暖化の影響がこんなに身近なところまで及んでいることに驚いた。また最近大きな自然災害も増えてきていることもあり、13番について何かできることはないか興味をもった。ごみを出さないようにする工夫、電気や水を節約する生活習慣の見直しなど無理なく継続できることを取り組みたい。知らないことが多すぎるので調べて知ることからスタートしたい。

- 14 道東は海と近く、身近に感じたためです。最近は水温によりとれる魚が変わったり、赤潮が発生したりと漁業がかかえる問題はたくさんある印象です。私は、ごみを分別したり環境に優しい洗剤を使ったりしていきます。

- 16 専門分野(歴史)を生かして、人類が平和と公正の実現にいかにか腐心してきたか、それでもなお実現されないのは何故かを子どもたちに教え、考えさせ自身の行動変容につながるような授業を行っていきたい。

家庭科 BOOK

「生活を豊かにソーイング」

「持続可能な社会を生きる」

with SDGs 

完成した作品の写真をはりましょう。

中標津町立中標津小学校

6年 組

名前()

家庭科「生活を豊かにソーイング」1時間目 6年 組 名前()

自分の課題を考えよう。

誰に向けて作る？

--

何を作る？

図・絵・言葉で表現してみよう。

どうして?(理由)

今日の学習のふりかえり・次回に向けて

--

私(先生)から

--

家庭科「生活を豊かにソーイング」2・3時間目 6年 組 名前()

自分の課題から計画を立てよう。～制作カード～

作品名

完成予想図～言葉や図・絵で表してみよう。(形や大きさも書き込もう。)

必要な材料・用具(必要に応じて調べてまとめよう。)

-
-
-
-
-
-
-
-

6年 組 名前()

製作メモ

A large, empty rounded rectangular box with a black border, intended for writing the production memo. The box is vertically oriented and occupies most of the page below the header.



参考にした団体

国際環境NGOグリーン
ピースジャパン 様

日本でリサイクルされるプラスチックは
どのくらいわかるかな？

- ①約80パーセント
- ②約50パーセント
- ③約20パーセント

プラスチックごみのほとんどが

燃やされて
埋め立てられているのです。

プラスチック製品は・・・

- 日本では、樹脂生産が1100万トンと
言われています。
- これは、世界的にさらに増えると言われて
いて、このまま何もしなければ205
0年、みんなが大人になっているころに
は3倍にもなると言われています。

レジ袋が土に還るまで・・・

細かく分解されても

基本的には土に還らない。